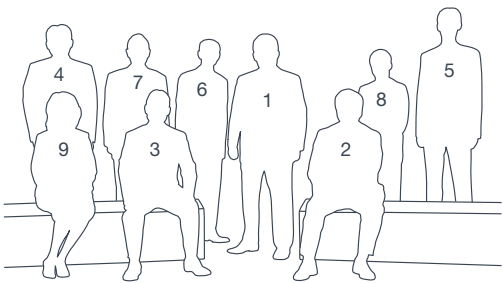


事業基盤の強化

コーポレート・ガバナンスの高度化



(2026年9月1日現在)

経営体制

取締役

1 代表取締役 社長執行役員 ^{ときわ かずあき}**常盤 和明**

1983年 3月 当社入社
2002年 4月 RIMTEC CORPORATION営業部長
2007年 1月 RIKEN ELASTOMERS CORPORATION取締役社長
2011年10月 当社コンパウンド事業部副事業部長 兼 コンパウンド営業部長
2013年 4月 当社経営企画室副室長
2013年 6月 当社取締役 経営企画室長
2016年 4月 当社代表取締役 社長執行役員(現任)

2 代表取締役 副社長執行役員 管理本部長 ^{いりえ じゅんじ}**入江 淳二**

1981年 4月 株式会社富士銀行(現 株式会社みずほ銀行)入行
2009年 4月 株式会社みずほ銀行執行役員 小舟町支店長
2011年 5月 当社入社
2011年 6月 当社法務・コンプライアンス室長
2012年 6月 当社取締役 法務・コンプライアンス室長
2013年 4月 当社取締役 管理本部長 兼 総務部長
2016年 4月 当社取締役 常務執行役員 管理本部長 兼 経営企画本部長
2017年 1月 当社取締役 常務執行役員 管理本部長 兼 経営企画本部長
2017年 4月 当社取締役 常務執行役員 管理本部長 兼 総務部長
2017年10月 当社取締役 常務執行役員 管理本部長
2019年 4月 当社取締役 専務執行役員 管理本部長 兼 経営企画本部長
2020年 4月 当社取締役 専務執行役員 管理本部長
2020年 6月 当社代表取締役 専務執行役員 管理本部長
2022年 4月 当社代表取締役 専務執行役員 管理本部長 兼 経営企画本部長
2023年 4月 当社代表取締役 専務執行役員 管理本部長
2025年 4月 当社代表取締役 副社長執行役員 管理本部長(現任)

3 取締役 専務執行役員 営業本部長 ^{かじやま がくゆき}**梶山 学之**

1985年 3月 当社入社
2008年 6月 当社名古屋営業所長 兼 コンパウンド車両開発室長
2010年 3月 当社コンパウンド事業部副事業部長
2011年 4月 当社経営企画室部長代理
2011年 9月 RIKEN ELASTOMERS CORPORATION取締役社長
2016年 4月 当社執行役員 RIKEN ELASTOMERS CORPORATION取締役社長
2017年 4月 当社上席執行役員 経営企画本部長
2017年 6月 当社取締役 上席執行役員 経営企画本部長
2019年 4月 当社取締役 常務執行役員 営業本部長
2025年 4月 当社取締役 専務執行役員 営業本部長(現任)

5 社外取締役 ^{はぎわら たけし}**萩原 剛**

1982年 4月 三菱商事株式会社入社
1991年 8月 米国三菱商事株式会社ヒューストン支店
1996年 1月 三菱商事株式会社クロール・アルカリ部
2005年 1月 同社汎用化学品本部クロールアルカリユニットマネージャー
2010年 3月 同社化学品グループCEO オフィス室長
2012年 4月 同社機能化学品本部長
2013年 4月 同社執行役員機能化学品本部長
2015年 4月 同社執行役員汎用化学品第一本部長
2016年 4月 同社常務執行役員化学品グループCEO
2019年 4月 同社常務執行役員石油・化学グループCEO(2021年3月退任)
2021年 3月 サウディ石油化学株式会社代表取締役社長(2025年3月退任)
2026年 6月 当社社外取締役(現任)

7 社外取締役 監査等委員 ^{えはら しげる}**江原 茂**

1981年 4月 安田火災海上保険株式会社入社
2011年 4月 株式会社損害保険ジャパン執行役員 企業商品業務部長
2013年 4月 同社取締役常務執行役員、日本興亜損害保険株式会社常務執行役員、NKSJホールディングス株式会社執行役員
2013年 6月 NKSJホールディングス株式会社取締役執行役員
2014年 9月 損害保険ジャパン日本興亜株式会社取締役常務執行役員、損保ジャパン日本興亜ホールディングス株式会社取締役常務執行役員
2016年 4月 損害保険ジャパン日本興亜株式会社取締役専務執行役員、損保ジャパン日本興亜ホールディングス株式会社取締役専務執行役員
2016年 11月 SOMPOホールディングス株式会社代表取締役専務執行役員
2017年 4月 同社海外保険事業オーナー代表取締役専務執行役員
2018年 4月 損害保険ジャパン日本興亜株式会社副社長執行役員(2018年6月退任)、SOMPOホールディングス株式会社取締役副社長執行役員(2018年6月退任)
2018年 6月 損害保険料率算出機構専務理事(2022年6月退任)
2022年 6月 当社社外取締役(監査等委員)(現任)

(注)
1. 安田火災海上保険株式会社、株式会社損害保険ジャパン、日本興亜損害保険株式会社および損害保険ジャパン日本興亜株式会社は、現在の損害保険ジャパン株式会社です。
2. NKSJホールディングス株式会社および損保ジャパン日本興亜ホールディングス株式会社は、現在のSOMPOホールディングス株式会社です。

執行役員(取締役兼務者を除く)



上席執行役員
経営企画本部長
^{の い し き み ち お}**野一色 道雄**



執行役員 営業本部 副本部長
兼トランスポートेशन
ビジネスユニットマネージャー
^{な かわ ら ふ み と し}**中村 文俊**



執行役員 ものづくり統括本部フィルム
本部長 兼フィルム本部フィルム開発部長
兼フィルム本部フィルム品質管理部長 兼
ものづくり統括本部基盤技術研究部長
^{た む ら あ き ひ ろ}**田村 昭裕**



執行役員 北米地域統括
RIKEN AMERICAS CORPORATION
取締役社長 兼 RIKEN ELASTOMERS
CORPORATION 取締役社長
^{い え だ ひ ろ き}**家田 大毅**



執行役員 ASEAN地域統括
RIKEN (THAILAND) CO., LTD.
取締役社長
^{い え だ ひ ろ き}**家田 大毅**

4 取締役 常務執行役員 ものづくり統括本部長 兼 ものづくり統括
本部コンパウンド本部長 兼 ものづくり統括本部購買本部長 ^{おがわ ともぞう}**小川 智三**

1996年 3月 当社入社
2013年 1月 RIKEN ELASTOMERS CORPORATION TECHNICAL MANAGER
2018年 4月 当社経営企画部部長代理
2020年 4月 当社執行役員 製造本部長 兼 業務管理部長
2020年10月 当社執行役員 製造本部長 兼 フィルム製造部長 兼 業務管理部長
2022年10月 当社執行役員 製造本部長 兼 業務管理部長 兼 TPM推進部長
2023年 4月 当社執行役員 製造本部長 兼 埼玉工場長
2024年 4月 当社上席執行役員 製造本部長 兼 購買本部長
2025年 4月 当社常務執行役員 ものづくり統括本部長 兼 購買本部長
2025年 6月 当社取締役 常務執行役員 ものづくり統括本部長 兼 ものづくり統括
本部コンパウンド本部長 兼 ものづくり統括本部購買本部長(現任)

6 取締役 常勤監査等委員 ^{おおば みのる}**大庭 実**

1990年 4月 三菱商事株式会社入社
2005年 6月 同社サウディ石化ユニット
2013年12月 Petronas Chemicals Aromatics Malaysia営業部長
2016年 4月 RIMTEC CORPORATION経営企画部長
2016年10月 RIMTEC CORPORATION社長
2017年 4月 RIKEN AMERICAS CORPORATION EVP 兼 RIMTEC CORPORATION社長
2020年 8月 三菱商事株式会社監査部
2023年 7月 同社総合素材グループ監査部長
2024年 4月 同社マテリアルソリューショングループ監査部長
2026年 4月 同社マテリアルソリューショングループ監査部(2026年10月31日同社退職予定)
2026年 6月 当社取締役(常勤監査等委員)(現任)

8 社外取締役 監査等委員 ^{すえむら}**末村 あおぎ**

1992年10月 朝日新和会計社(現 有限責任あず監査法人)入所
1996年 4月 公認会計士登録
1999年 8月 株式会社ゴールドクレスト入社
2002年 1月 住友商事フィナンシャルマネジメント株式会社入社
2004年11月 監査法人トーマツ(現 有限責任監査法人トーマツ)入所
2008年 6月 同監査法人社員(現 パートナー)
2022年 1月 末村あおぎ公認会計士事務所代表(現任)
2022年 6月 当社社外取締役(監査等委員)(現任)
2023年 3月 新日本電工株式会社社外監査役
2024年 3月 同社社外取締役(監査等委員)(現任)
2024年 6月 野村不動産ホールディングス株式会社社外取締役(監査等委員)
(2025年12月退任)

9 社外取締役 監査等委員 ^{きぬがわ さちえ}**絹川 幸恵**

1988年 4月 株式会社富士銀行(現 株式会社みずほ銀行)入行
2004年 8月 みずほ証券株式会社市場営業第4部長
2008年 6月 同社人事部ダイバーシティ推進室長
2010年 4月 同社ウェルスマネジメント部長
2013年 4月 同社成城支店長
2015年 4月 同社名古屋駅前支店長
2017年 4月 同社執行役員名古屋支店長
2019年 4月 同社執行役員リテール・事業法人部門営業担当役員
2021年 4月 みずほビジネスパートナー株式会社代表取締役社長(2025年3月退任)
2023年 6月 株式会社名古屋銀行社外取締役(現任)
2025年 6月 日産化学株式会社社外監査役(現任)
2025年 6月 高千穂交易株式会社社外取締役(現任)
2025年 6月 当社社外取締役(監査等委員)(現任)

取締役会のスキル・マトリックス

当社は、3ヵ年中期経営計画における経営方針「One Vision, New Stage 2027」の実現の観点から、そこで定める3つの戦略とその戦略を支える施策の推進を適切に監督するため、取締役会に期待するスキルを以下のとおり特定し、スキル・マトリックスを策定しています。

経営戦略とスキル項目の関係性

3ヵ年 中期経営計画	成長/稼ぐ力			永続/ サステナビリティ	財務戦略
	戦略1 Global One Company	戦略2 顧客の期待の 先を行く	戦略3 新規事業/ 新製品への挑戦		
スキル項目	企業経営/ 経営戦略	営業/ マーケティング	研究開発/ 製造	ESG/ サステナビリティ	財務/会計
	グローバル経験	DX/IT		法務/ リスクマネジメント	
	人事/労務/人材開発				

スキルの保有状況

氏名	役職	性別	スキル									〇を付けた主な理由	2025年度の出席状況(回)			
			企業経営/ 経営戦略	営業/ マーケティング	グローバル 経験	研究開発/ 製造	財務/ 会計	法務/リスク マネジメント	人事/労務/ 人材開発	ESG/ サステナビリティ	DX/IT		取締役会	指名委員会	報酬委員会	監査等委員会
常盤 和明	代表取締役 社長執行役員	男	○	○	○	○				○		●米国子会社における社長経験 ●営業/経営企画/品質保証部門での業務経験	17/17★	4/4	3/3	－
入江 淳二	代表取締役 副社長執行役員	男	○				○	○	○	○	○	●銀行における執行役員経験 ●当社管理(人事/経理/法務/システム)/経営企画での 本部長経験	17/17	4/4	3/3	－
梶山 学之	取締役 専務執行役員	男	○	○	○	○				○		●米国子会社における社長経験 ●経営企画での本部長経験 ●営業/研究開発部門での業務経験	17/17	－	－	－
小川 智三	取締役 常務執行役員	男	○		○	○				○	○	●製造部門での本部長経験 ●米国子会社におけるManager経験 ●経営企画/研究開発部門での業務経験	14/14	－	－	－
萩原 剛	社外取締役 (独立)	男	○	○	○				○			●商社における執行役員経験、海外勤務経験 ●商社の化学業界での業務経験	－※	－※	－※	－※
大庭 実	取締役 常勤監査等委員	男	○	○	○			○				●米国子会社における社長経験 ●商社の化学業界での業務経験 ●商社での監査部門経験	－※	－※	－※	－★※
江原 茂	社外取締役 監査等委員 (筆頭・独立)	男	○		○		○	○	○			●損害保険会社における副社長執行役員経験、 海外勤務経験	17/17	4/4★	3/3	14/14
末村 あおぎ	社外取締役 監査等委員 (独立)	女					○	○	○			●監査法人におけるパートナー経験、公認会計士資格	17/17	4/4	3/3★	14/14
絹川 幸恵	社外取締役 監査等委員 (独立)	女	○				○		○	○		●証券会社における執行役員経験 ●人材サービス会社における社長経験	14/14	2/2	2/2	11/11

★＝議長または委員長 ※ 2026年6月19日就任

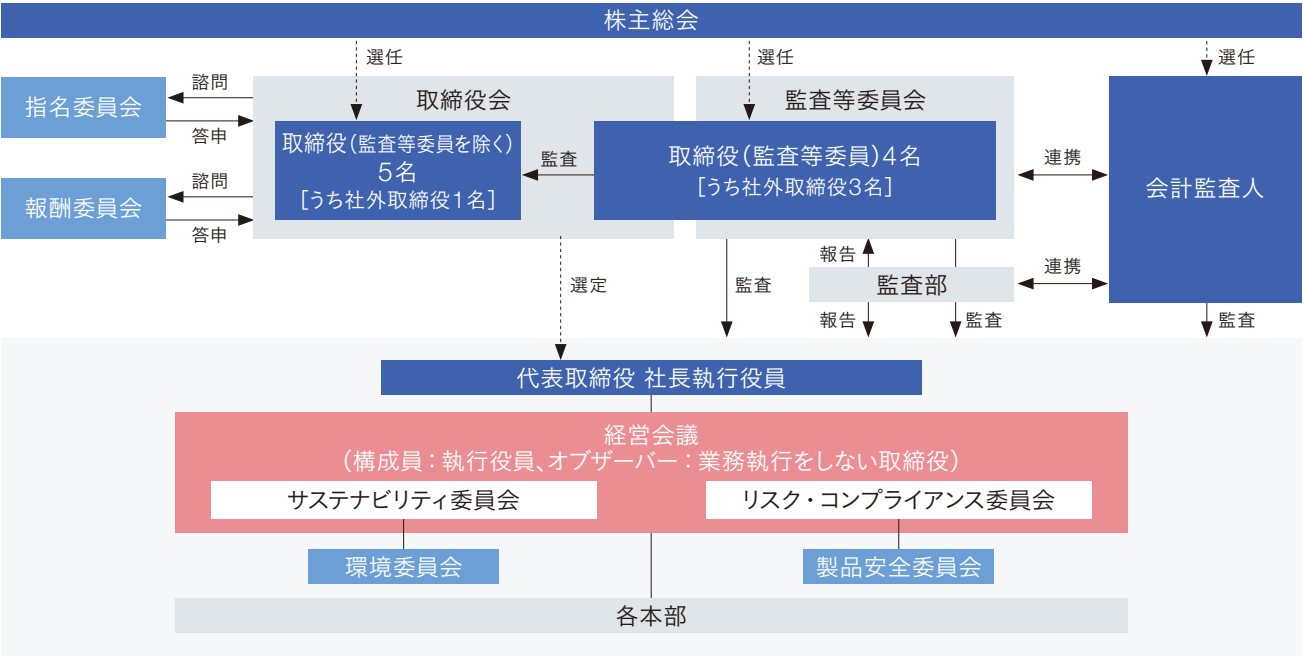
スキルの定義

スキル項目	スキルの定義
1 企業経営/経営戦略	他社における取締役・執行役員等の経験（連結子会社においては社長経験） 経営企画部等での業務経験
2 営業/マーケティング	化学業界での営業経験・マーケティング部門等での業務経験
3 グローバル経験	海外勤務経験、国際部門等での業務経験
4 研究開発/製造	研究開発/製造部門等での業務経験
5 財務/会計	経理/財務部門/金融機関等での業務経験、財務/会計に関する知見
6 法務/リスクマネジメント	法務/リスクマネジメント部門等での業務経験、法務/リスクマネジメントに関する知見
7 人事/労務/人材開発	人事/労務/人材開発部門等での業務経験、人事/労務/人材開発に関する知見
8 ESG/サステナビリティ	ESG関連部門等での業務経験、ESG/サステナビリティに関する知見
9 DX/IT	DX/ITを活用した業務改革の推進経験（製造/研究開発等におけるDX推進を含む） DX/ITに関する知見

コーポレート・ガバナンス方針

当社グループは、「コーポレート・ガバナンスの高度化」を経営上の重要課題のひとつとして位置づけています。経営理念である「リケンテクノス ウェイ」の実践を通して持続的に成長し、中長期的に企業価値を向上させていくために、グループ全体で実効的なガバナンスの仕組みを整備し、経営の透明性、公正性の確保に努めるとともに、株主・投資家の皆様との対話もより一層進めていきます。

コーポレート・ガバナンス体制図



コーポレート・ガバナンス高度化に向けたこれまでの取り組み

	2016年度	2020年度～	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
機関設計	・監査等委員会 設置会社へ移行					
任意の 委員会	・指名委員会・ 報酬委員会の設置 ・社外取締役会の 設置	・リスク・ コンプライアンス 委員会の設置	・サステナビリティ 委員会の設置			
取締役会 の構成	・8名 社内：5名 社外：3名	・9名 社内：6名 社外：3名	・9名 社内：5名 社外：4名 (うち、女性1名)	・7名 社内：4名 社外：3名 (うち、女性1名)	・9名 社内：5名 社外：4名 (うち、女性2名)	
報酬制度	・株式報酬制度の 導入		・取締役の個人別の 報酬等の内容に ついての方針策定	・取締役の報酬体系 の見直し	・取締役の報酬体系 の見直し	・中長期業績連動 報酬の導入
上記以外	・執行役員制度導入 (監督と執行の分離)	・CGポリシー策定 ・社外取締役の 独立性基準を制定 ・後継者計画策定 ・サステナビリティ ポリシー策定	・TCFD提言に基づく 開示の実施	・統合報告書の発行 ・人権方針の策定 ・CSIRTの構築	・人権リスクマネジ メント(人権DD) の開始	

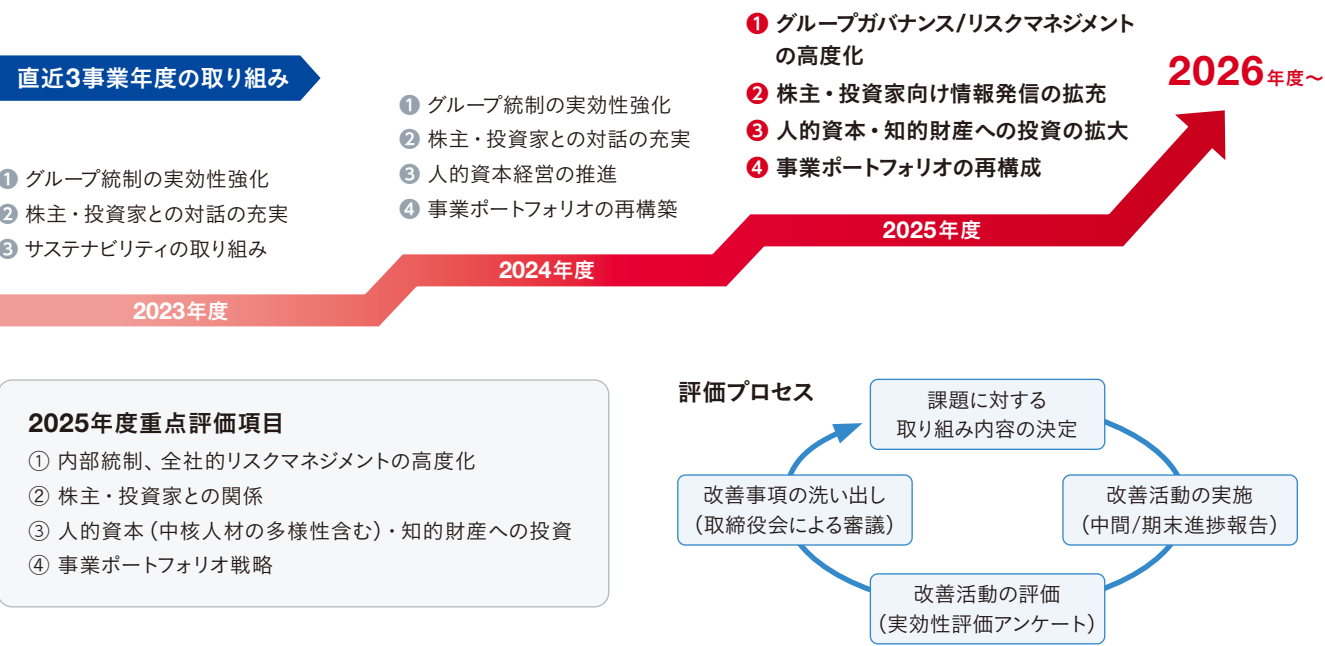
赤字は前年比で人員減少 青字は前年比で人員増加

コーポレート・ガバナンス体制

会議名	開催回数 (2025年度)	詳細
取締役会	17回	構成員：取締役(監査等委員である取締役を除く)5名(うち独立社外取締役1名)、監査等委員である取締役4名(うち独立社外取締役3名) 3分の1以上を独立社外取締役で構成することにより経営の透明性・健全性を確保しています。 また、取締役会全体の知識・経験・能力のバランス、多様性の確保、審議の活性化等の点も考慮し、適切な規模・構成となるように選任しています。 【2025年度の主な審議事項】 ガバナンス等の経営監督事項、株主/投資家向け情報発信の拡充および関係強化、人的資本投資の拡大・従業員エンゲージメントの向上、グループガバナンス/リスクマネジメントの高度化、政策保有株式の保有適否の検証、株式給付信託(従業員持株会処分型)(ESOP)の再導入等
経営会議	12回	構成員：執行役員全員 オブザーバー：業務執行をしない取締役全員 執行役員全員で構成していますが、社外取締役も経営監督の立場から出席し、必要に応じて意見を述べています。毎月取締役会に先立って開催され、取締役会上程事項の事前審議のほか、取締役会から権限委譲された重要な業務執行を審議・決定しています。
サステナビリティ委員会	6回	構成員：執行役員全員 オブザーバー：業務執行をしない取締役全員 詳細は「リケンテクノスのサステナビリティ」(P49)をご参照ください。
リスク・コンプライアンス委員会	4回	構成員：執行役員全員 オブザーバー：業務執行をしない取締役全員 詳細は「リスクマネジメントの強化」(P77)をご参照ください。
監査等委員会	14回	構成員：監査等委員4名(うち独立社外取締役3名) 過半数を独立社外取締役で構成し、かつ、財務・会計に関する相当程度の知見を有している者を1名以上選任しています。また、常勤の監査等委員を選定することにより、社内での迅速な情報収集と社外取締役との密な情報共有を行っています。
指名委員会・報酬委員会	4回・3回	構成員：社長執行役員、副社長執行役員、独立社外取締役4名 両委員会とも、スキルの保有状況等も考慮して複数の社内取締役を委員に含めることにより議論の実質化を図る一方で、その過半数を独立社外取締役で組織することにより、指名・報酬に関するプロセスおよび内容の透明性と客観性を確保しています。また、委員長は、委員の互選により、独立社外取締役の中から選定しています。 【2025年度の主な審議事項】 指名委員会：取締役および執行役員候補者の選定に関する事項、後継者計画(サクセッション・プラン)の進捗確認 報酬委員会：取締役(監査等委員である取締役を除く)および執行役員の個人別報酬
社外取締役会	3回	構成員：独立社外取締役全員 経営に対する助言、経営全般の監督、利益相反の監督を行うとともに、ステークホルダーの意見を取締役に反映させる役割を担っています。 独立社外取締役には、当社の定める社外取締役の独立性基準 [※] を満たし、かつ、当社の持続的な成長と中長期的な企業価値の向上に寄与するために上記役割を担うことのできる者を選任しています。また、独立社外取締役の互選により筆頭独立社外取締役を選定し、社内との連絡・調整に関わる体制を整備しています。 半年に1回以上社外取締役会を開催し、社外取締役間の情報交換・認識共有を図っています。 [※] 社外取締役の独立性基準については、「リケンテクノスグループ コーポレート・ガバナンス ポリシー」の中で定めています。 https://www.rikenteknos.co.jp/csr/governance/corporate-governance/

取締役会の実効性評価

当社は取締役会の機能向上のため、毎年その実効性の評価・分析を行っています。



2025年度の課題と取り組み（実績）

課題	取り組み実績
グループガバナンス/リスクマネジメントの高度化	連結子会社との間で定期的な情報共有体制を整備することで、リスク事象や課題をタイムリーに共有し、対応策を実施した。また、課題改善状況の確認やさらなる改善策の議論も迅速に行い、グループ統制と全社的リスクマネジメントの高度化を進めた。
株主・投資家向け情報発信の拡充	SR面談/IR面談や決算・経営概況説明会等において、ROIC/WACC、B/Sマネジメントなどの資本効率を意識した開示を行い、スポンサードリサーチの発刊等の新たな取り組みも実施した。また、各種対外公表についても「成長戦略ストーリー」が読み取れる内容で適時/適切に行った。
人的資本・知的財産への投資の拡大	従業員投資会の奨励金引き上げや従業員向け株式報酬制度（J-ESOP）導入により、従業員の株価意識や経営参画意識の向上を図った。また、新たに人材開発部を設置し、人的資本投資の拡充に向けて組織体制面の整備も実施した。
事業ポートフォリオの再構成	工場の拡張計画や不採算部門の改善/今後の方向性に関する議論を進め、事業ポートフォリオの見直しに関する議論を深めた。

2026年度の課題と取り組み（計画）

課題	取り組み計画
株主・投資家向け情報発信の拡充	個人投資家向け/海外投資家向けの施策を強化し、対話で得られた意見は引き続き適時/適切に社内体制に反映し、企業価値向上につなげる。
人的資本・知的財産への投資の拡大	人的資本への投資については、従業員の経営参画意識/エンゲージメント向上に努めるとともに、グローバル人材の育成に注力していく。知財への投資については、全社的な知財戦略や対策に関する議論を進めていく。
事業ポートフォリオの再構成	ROICを意識した経営を深化し、企業規模の拡大や成長戦略の方向性について、長期的な視点で議論を進めていく。

役員報酬

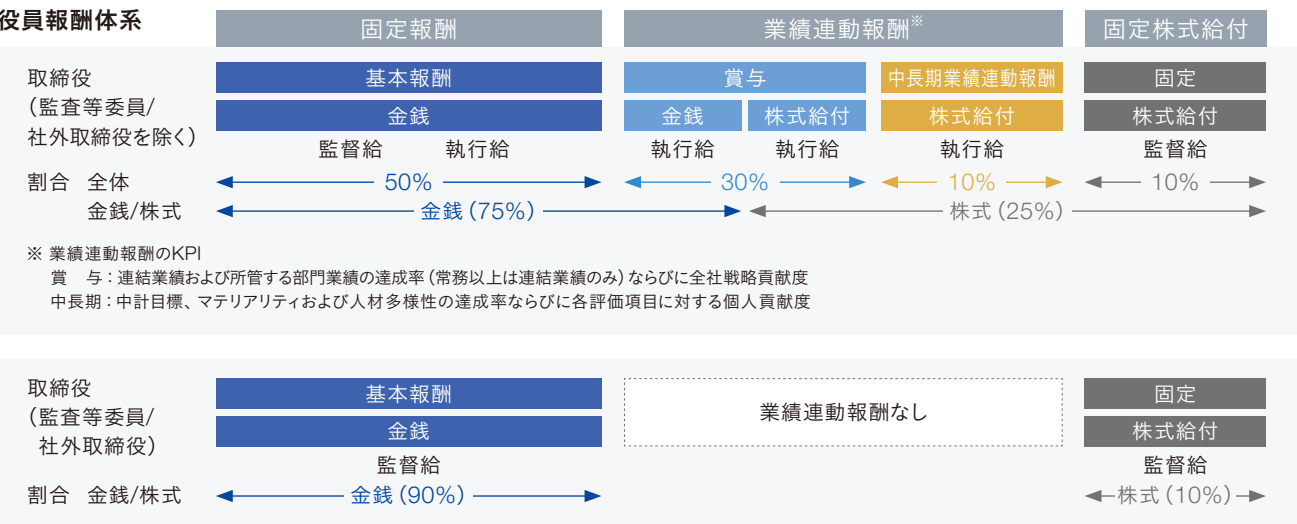
■ 基本方針

取締役（監査等委員である取締役を除く）の報酬は、各事業年度の業績の向上および中長期的な企業価値向上を動機づけ、また株主とも価値を共有できる報酬制度とし、役位および職責に応じた適切な報酬水準としています。それらの決定に際しては、客観性および透明性を確保するため、過半数を独立社外取締役で組織する報酬委員会の意見を尊重します。

■ 役員報酬の構成

取締役（監査等委員である取締役を除く）の報酬は、執行給および監督給で構成し、執行給は、固定額の基本報酬（金銭）、短期業績連動報酬としての賞与（金銭および株式給付）および中長期業績連動報酬としての株式給付とし、監督給は、固定額の基本報酬（金銭）および固定額の株式給付としています。ただし、取締役（監査等委員である取締役を除く。）のうち業務執行を行わない取締役の報酬は、監督給のみで構成されています。

監査等委員である取締役の報酬は、業績に連動しない固定報酬（基本報酬）および固定株式給付のみで構成しています。



2025年度の報酬等の総額

役員区分	報酬等の総額 (千円)	報酬等の種類別の総額 (千円)				対象となる 役員の員数 (名)
		固定報酬	業績連動報酬 (賞与)		固定株式給付	
		基本報酬	金銭	株式給付		
取締役 (監査等委員を除く) (社外取締役を除く)	203,975	120,471	63,044	10,425	10,033	4
取締役 (監査等委員) (社外取締役を除く)	17,733	16,800	－	－	933	1
社外取締役 (監査等委員)	37,911	36,000	－	－	1,911	4
合計	259,619	173,271	63,044	10,425	12,877	9

後継者計画（サクセッション・プラン）

当社では、経営幹部候補群の人材プールを確保するため、後継者計画（サクセッション・プラン）を策定しています。経営理念や経営方針等を踏まえて、後継者候補の育成が十分な時間と資源をかけて計画的に行われていくよう、今後も取締役会および指名委員会がその運用に主体的に関与し、定期的な監督を行っていきます。



後継者選定プロセスの透明性・客観性の確保

取締役候補者の選定および執行役員の選任に際し取締役会の意思決定を支援する指名委員会は、より多様な視点を取り入れるため、委員の過半数を社外取締役で構成しています。2025年度は、指名委員会を4回開催し、取締役および執行役員候補者の選定に関する事項ならびに後継者計画（サクセッション・プラン）等について審議しました。

また、経営幹部候補の資質をより適切に評価し選抜の妥当性を高めるため、社外取締役による執行役員・執行役員候補者・参与・部長職との面談・ヒアリングを実施しています。これらの面談は、候補者の人物像やリーダーシップ、価値観などを多面的に把握する機会となっており、後継者選抜の初期段階から社外取締役が関与することで、意思決定の公正性が一層高まっています。2025年度の合計面談実施回数は、14回でした。

社外取締役座談会



社外取締役が語る、リケンテクノスの現在地と次なる挑戦

好調な業績を続けるリケンテクノスが、さらに成長していくために何が必要なのか。社外取締役4名が、当社の現在地を見つめながら、財務・非財務の両面からの企業価値向上、成長を後押しするガバナンス、Global One Companyの実現に向けたグローバル経営やDE&Iなどについて議論しました。新たに社外取締役に就任した萩原剛氏を迎え、それぞれの経験や専門性を踏まえて、変化の激しい事業環境を乗り越え、持続的に成長するために必要なこと、そして社外取締役が果たすべき役割について率直に語り合いました。

成長を続ける「健康体」のリケンテクノス

確かな強みを、次の飛躍につなげる

萩原 私は今年6月に社外取締役に就任したばかりですが、総合商社で40年近く、主に化学品やエネルギー分野の事業に携わってきました。実は三菱商事に在籍していた頃からリケンテクノスとはお付き合いがあり、その当時から、新しいことに挑戦する意欲の強い会社だという印象を持っていました。この1か月の役員会等でのやり取りを通じて、人間の体に例えるなら、極めて強いバランスシートという背骨を持ち、安定的かつ成長する収益という良質な血液が流れ、経営トップの目配りが隅々まで届く神経系統も機能している、健全な健康体という印象を持っています。

江原 そうですね。当社には、75年間培ってきた化学品素材の配合加工技術とお客様への提案力、特定の資本系列に属さないことによる原料調達等の柔軟性、業務用ラップにおける高いシェアなど、いくつもの強みがあります。加えて、ASEANや北米を中心に生産・販売拠点を展開しており、今後さらに事業を拡大していくための一定の基盤が整っています。そして何より、現在のトップマネジメントは非常に強い。5年にわたり最高益を更新し続けていることが、そのひとつの証左だと思います。もうひとつ挙げたいのが企業文化です。非常にオープンで、社外取締役にも必要な情報がきちんと共有されます。また、社内の議論や経営陣のメッセージがシンプルでわかりやすい。組織が迷わず、同じ方向へ動いていくうえで、これは大きな強みです。